

# 性格と LINE のアイコンの無関係性

情報学部メディア表現学科 b5p51009 板野 茜

## 1. はじめに

LINE のアイコンで深層心理がわかる、といういわゆる心理テストのようなものがある。

例えばサイト ([https://uranailady.com/07\\_sns.html](https://uranailady.com/07_sns.html)) では「SNS のプロフ写真で深層心理が丸わかり!!」と書いてある。内容としては「自分の顔を載せている人は私生活が充実している」また「仲間たちとの集合写真を設定している人は協調性を重んじる」とアイコンに合わせて性格を分析している。果たしてそれは正しいのだろうか。

LINE のアイコンで性格を診断するというのは血液型性格診断と科学的根拠がないにもかかわらず流行したところが似ているのではないか。全員にあてはまるコンテンツや事柄に誰にでも当てはまるように書かれているのである。現代は血液型性格診断に否定的であるといえるだろう。「血液型性格関連説が性格の理論であるとは益々言い難くなるし、習俗としても好ましからざるものだということになる」(※1) 佐藤の研究によると血液型で性格と関連があるのかという検討を行った結果、有意差は得られていない。そもそも4つしか分類がないため人間の性格4つに分類しているところにも無理がある。筆者も初対面の人に血液型を当てられたことは1度もない。もちろん LINE のアイコンをみて性格を当てられたこともない。アイコン性格診断は血液型診断の別のジャンルとしてメディアの暇つぶしの一つとして派生した娯楽である。

インターネット上ではなく歴史的にも似たようなものが存在する。それは古くより自らの家系、血統、家柄、地位を表わすために用いられてきた紋章である「家紋」だ。『愚管抄』(1220年)によると白河天皇の外祖父・藤原実季が「巴紋」を牛車に用いたと記されているのが最古の記録で、自分の牛車を探す際の目印に用いたのが始まりとされる。(※2より引用) 戦国時代の絵巻を見ても旗や武器に家紋が描かれている。

家紋は自分を表す記号の様な役割を果たし、文字で書かれた名前より直感で判別ができるものである。そして戦においてそれらは味方か否かをタイムラグなしに判別する便利かつ重要なものであった。

また、企業や大学でも作られている紋章もアイコンと通じるところがある。「同業他社との差別化、独自性、優越性を強調するコミュニケーション方法である。」(田村紀雄著 メディア事典)にもあるように一目見ただけで言葉を使わずに企業や学校を判別することができる紋章は重要なものである。そこも現代の LINE のアイコンと通じるところである。

このように歴史的にみてもこういった直感的な判別方法は使われていたが、それと性格を繋げる証拠は

あるのだろうか。たしかに国内で2人に1人は使っている SNS で、みんなが使っているからこそ今回の論題である性格診断なるものが出てきたようだ。しかしこれらの診断において根拠を掲載しているサイトはない。個人を象徴するアイコンに好き勝手なイメージをつけられて得をすることは考えにくい。血液型診断の B 型と同じポジションの人が増えるべきではない。アイコンを選ぶ理由は千差万別であり、経験に基づいて選択されているものがほとんどだろう。性格とはさほど関係ない仮説をたてられる。しかし、当たっているという意見もある様なので一概に間違っているとは言えない。そこで筆者は文教大学の学生にアンケート調査を行い、この診断の正確性を調べることにした。

なお、LINE とは 2011 年 6 月にサービスが開始した、LINE 株式会社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下 SNS と記述）である。

図 1

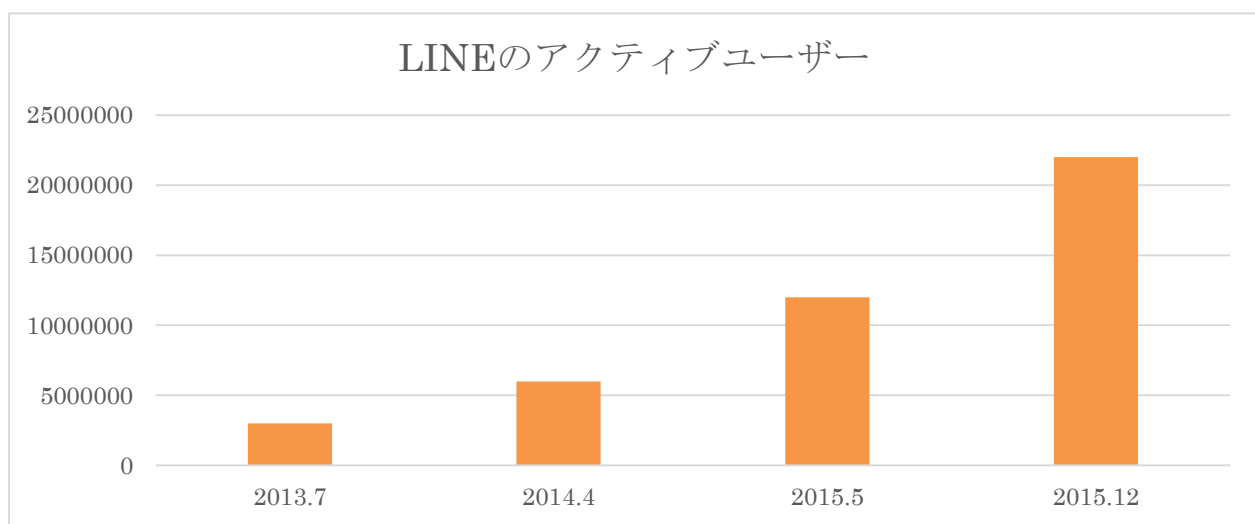


図 1 のように 2017 年 12 月までで国内の LINE の月間アクティブユーザー数は 7000 万人（※2）であり、人口の半数以上の日本人が LINE を利用している。国内利用者数の内訳でも若者だけではなく幅広い世代に利用されている、メジャーなコミュニケーションツールとなった。

上記した通り LINE のアカウントを持つ個人は少なくない。それはインターネット上での大切なコミュニケーションツールであるからだ。それに伴って、視覚的に分かりやすくした直感で個人を判断できるアイコンも重要であり、アイコンで個性を表現するものもある。

## 2. 調査を研究の方法

### 2-1.調査研究の経緯

- 4～7月 調査テーマ討論  
文献調査による情報収集
- 8～11月 調査票作成
- 12月 本調査実施
- 1～2月 集計・分析

### 2-2.調査の概要

- ・LINEの使用状況
- ・自身のアカウントについて
- ・他者とLINEについて
- ・性格診断

大学生を対象にLINEのアイコンと心理測定尺度集（堀 洋道監修 サイエンス社）から引用した『自己

肯定意識尺度』『一般他者版成人愛着スタイル尺度』『ユニークさ尺度』より性格診断を行った。また、引

用した質問項目は因子寄与率の高いもの、または似たような項目は省き抜粋してある。

### 2-3.本調査

- ・ 調査時期 2017年12月19日～31日
- ・ 調査対象者 文教大学湘南・越谷キャンパス学生の全学部学科の学生
- ・ 調査方法 Googleのアンケート機能を使用したオンライン調査

2017年度の文教大学学生集計表を用い、文教大学湘南キャンパス・越谷キャンパスに在籍する生徒数を学年ごとに16の層を作成する。次に層別にみた構成比を計算し、計画標本数（1000人）を構成比によって各層に割り当てる。（図2）その次に文教大学学生集計表を用いて、学部学科ごとの学籍番号で構成されたリストを作成し、各層に割り当てられた人数を抽出するため、学部学科ごとに、該当する番号の個人を

起点として8人間隔で系統抽出する。

図2 割り当て数

学部	学科	学生数	構成比	割り当て数
情報	情報システム	440	5.13%	51
	情報社会	402	4.69%	47
	メディア表現	448	5.22%	52
経営	経営	747	8.71%	87
国際	観光	604	7.04%	70
	理解	550	6.41%	64
健康栄養	管理栄養	422	4.92%	49
人間科学	人間科学	636	7.41%	74
	心理	625	7.28%	73
	臨床心理	565	6.59%	66
文学	英米語英米文学	557	6.49%	65
	外国語	83	0.97%	10
	日本語日本語文学	583	6.79%	68
	中国語中国文学	413	4.81%	48
教育	学校教育課程	1120	13.05%	131
	心理教育課程	385	4.49%	45
	合計	8580	100.00%	1000

・ 調査人数

依頼数 1000 (うち21名は学績番号が該当せず)

有効回答数 149

回収率 15.21%

### 3. 調査結果

#### 3-1.回答者の基本属性

回答者の内訳としては、男性 39.6% (59 人) 女性 60.4% (90 人) で女性が 6 割と半数以上を占める結果になった。また、回答者の年齢は「18 歳」10.1% (15 人)、「19 歳」29.5% (44 人)、「20 歳」20.8% (31 人)、「21 歳」22.8% (34 人)、「22 歳」15.4%、「23 歳」1.3% (2 人) で平均「20.08 歳」であった。

次に「あなたは一人暮らしですか。実家暮らしですか。」という質問では、「一人暮らし」41.6%、(62 人)「実家暮らし」57.0% (85 人)、「その他」1.3% (2 人) という結果になった。

また、回答者の対人関係について調べる為「あなたは大学のサークルに所属していますか。」「あなたはアルバイトをしていますか。」という 2 項目も質問した。回答はサークルに「所属している」が 67.8% (101 人)「所属していない」が 32.2% (48 人)、アルバイトを「している」は 89.3%、(133 人)「していない」が 10.7% (16 人) という結果になった。アルバイトをしていると答えた人は 9 割近くと非常に多くの者が社会的な対人関係を持っていることがわかった。

### 3-2.回答者の LINE の使用状況と心理

LINE の利用の有無、使用頻度、LINE 上での友達の数、LINE 上で最も多いグループについて質問した。以下はその結果である。

「LINE の利用率」という質問に対し、「はい」が 100% (149 人) と全員が LINE を利用していることがわかった。

「LINE の利用頻度」に対して「ほぼ毎日使う」が 94.6% (141 人)、「2～3日に1回使う」5.4% (8 人) と利用頻度は毎日使う人が 9 割以上と非常に高い。

図 3 では「あなたの LINE での友達の数についてお答えください。可能であれば、LINE を開いて確認してからお答えください。」という質問に対し、「30 人以下」2.0% (3 人)、「31～50 人」2.7% (4 人)、「51～70 人」4.0% (6 人)、「71～100 人」12.8% (19 人)、「101～150 人」18.8% (28 人)、「151～200 人」20.1% (30 人)、「201～300 人」20.1% (30 人)、「301人以上」19.5% (29 人) という結果になった。

図 3 LINE の友達の数

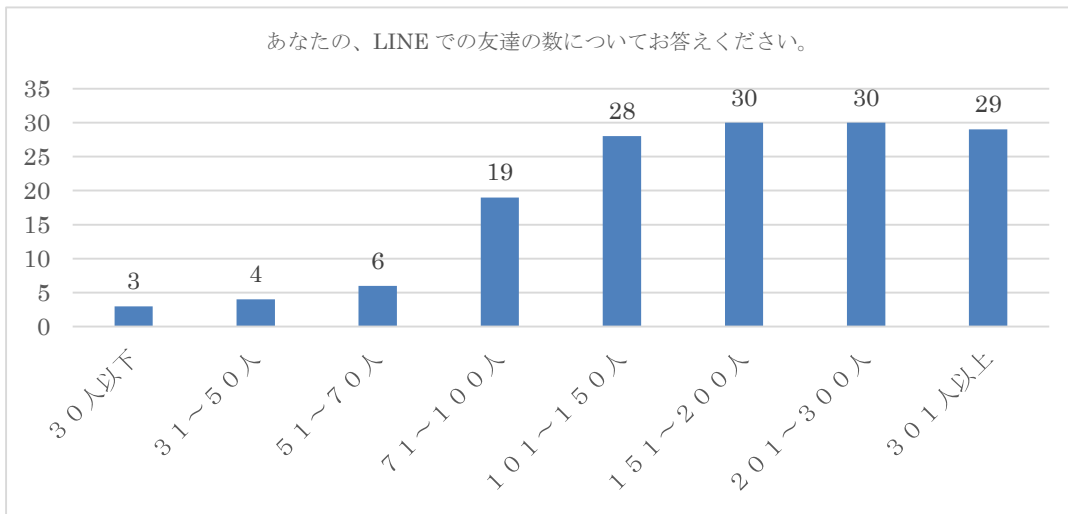
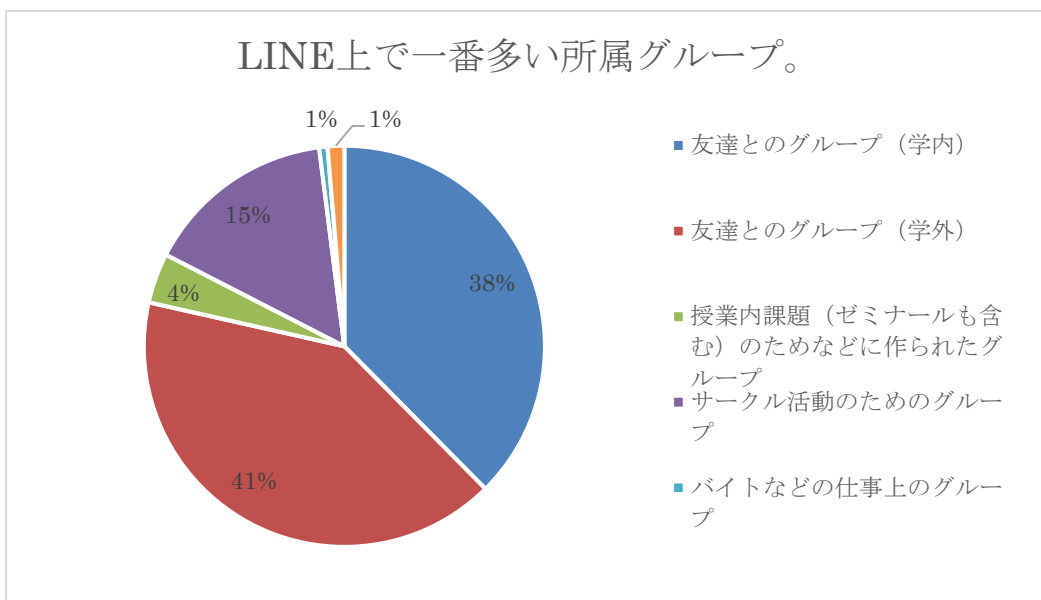


図4では「LINE上で一番多い所属グループ」という質問に対し、「友達とのグループ（学内）」37.6%（56人）、「友達とのグループ（学外）」40.9%（61人）、「授業内課題（ゼミナールも含む）のためなどに作られたグループ」4.0%（6人）、「サークル活動のためのグループ」15.4%（23人）、「バイトなどの仕事上のグループ」0.7%（1人）、「趣味のためのグループ」1.3%（2人）ということがわかった。学内外の友人のグループは全体の78.5%（117人）と、大学生のLINEの対人関係はやはり友人が占める割合が多い。

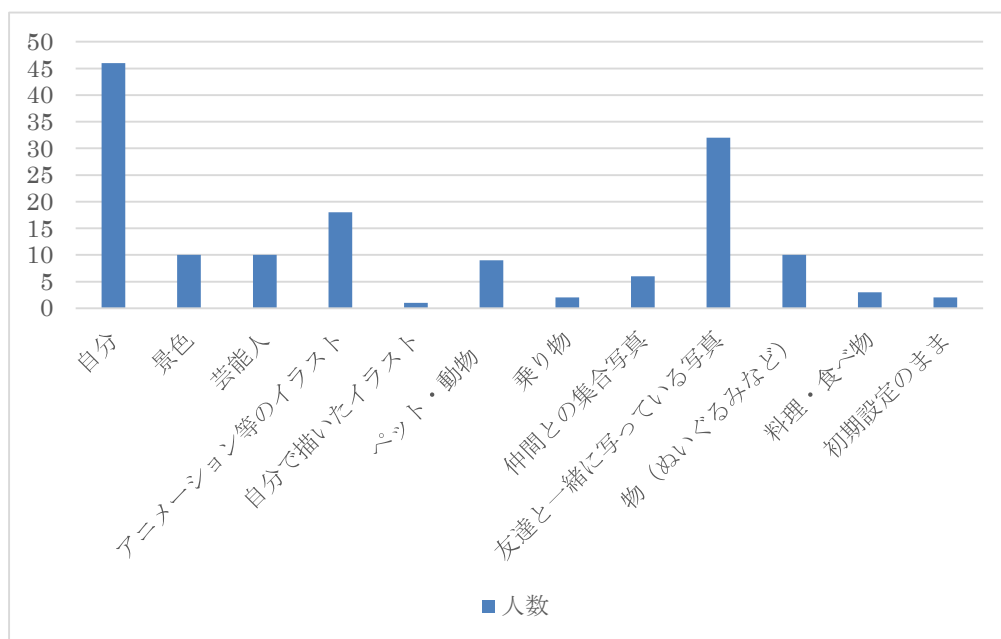
図4 LINEの所属グループ



### 3-3.LINEのアイコンについて

「現在の LINE のアイコン」という質問に対しては図5のグラフのようになった。「自分」は30.9% (46人)、「景色」は6.7% (10人)、「芸能人」は6.7% (10人)、「アニメーションキャラクターや漫画、ゲームキャラクター等のイラスト」は12.1% (18人)、「自分で描いたイラスト」は0.7% (1人)「ペット・動物」は6.0% (9人)、「乗り物」は1.3% (2人)、「仲間との集合写真」は4.0% (6人)、「友達と一緒に写っている写真」は21.5% (32人)、「物 (ぬいぐるみなど)」は6.7% (10人)、「料理・食べ物」は2.0% (3人)、「初期設定のまま」は1.3% (2人) で、「自分」を選んだ人が最も多かった。

図5 現在の LINE のアイコン



上記の回答で「自分」を選んだ46人にはどの様に自分が写っているかを訊ねた。「自分の顔や全身」11.4% (17人)、「アップにした自分の顔や体などの一部分」3.4% (5人)、「趣味をしている自分」2.0% (3人)、「スーツなどのビジネス用の服を着ている自分」0.7% (1人)、「自分の後ろ姿」6.0% (9人)、「自分が小さく景色の中にいる」4.7% (7人)、「特別な衣装を着た自分」2.0 (3人)、「自分の似顔絵やアバター」0.7% (1人) と細分化することができた。

そして自由回答で「現在のアイコンを選んだ理由はなんですか。できるだけ詳しく書いてください。」という質問をした。その回答を「こだわりのない」「好意的」「記録・思い出」「自己証明・表現」と4分類にわ

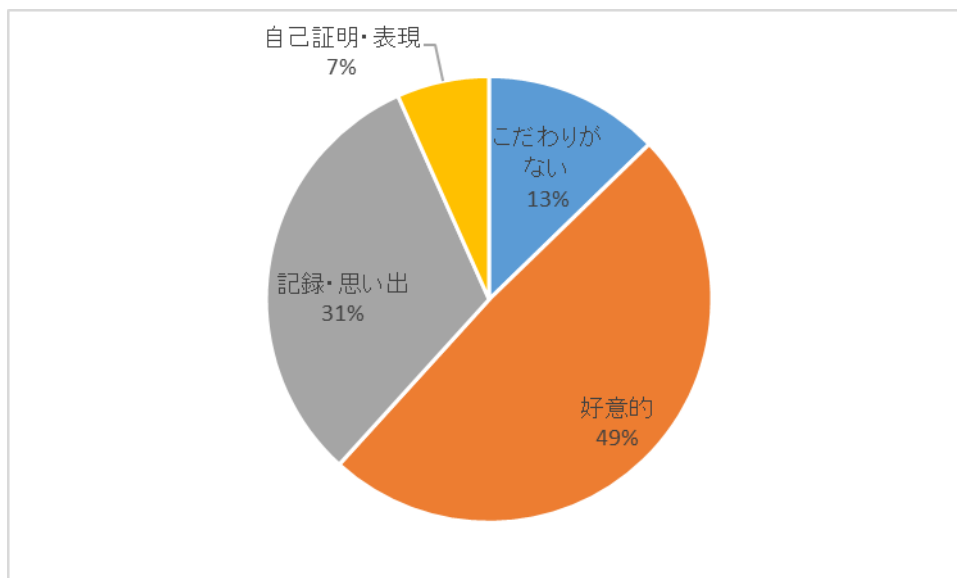
けた。

図6 (例) 4分類された理由

<b>こだわりのない</b>	楽だから なんとなく その時の気分で選んだ。これといった理由は無い。 たまたま 丸いから
<b>好意的</b>	気に入っているから そのアニメが好きだから 景色がきれいでお気に入りだから 仲よさそうに映ってたから 格好良く見えるから
<b>記録・思い出</b>	山中湖にツーリングに行き、いい写真が撮れ、映えたため。 高校の部活の友達との時間が楽しいから イルミネーションが綺麗だったから 楽しかった思い出だし、2人とも盛れているから。 旅行に行ったから
<b>自己証明・表現</b>	アイコンは自分の顔があった方がよいと思うから 自分のイメージに合っている気がするから。 バイトであるカフェに関連して。また、コーヒーが好きで趣味の表現としても使用。 自分らしいと思うから

すると、「こだわりのない」12.8% (19人)、「好意的」49.0% (73人)、「記録・思い出」31.5% (47人)、「自己証明・表現」6.7% (10人)であった。

図7 理由



### 3-4 アイコンを変える頻度と感心

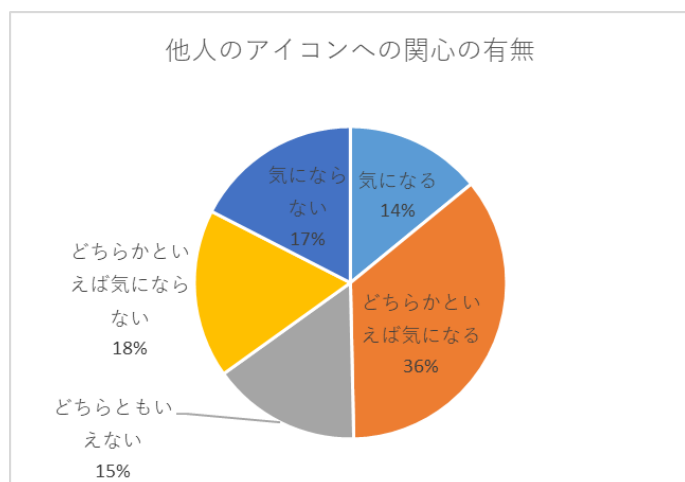
「アイコンを変える頻度」という質問項目では「半年に1回」37.6% (56人)が最も多かった。次いで



「2～3ヶ月に1回」33.6%（50人）が多かった。

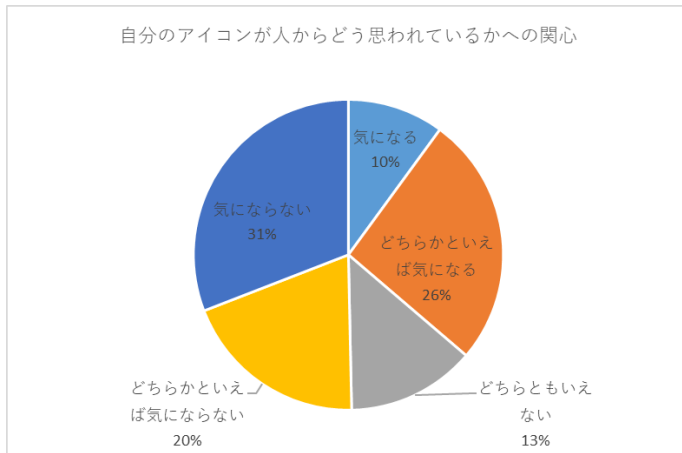
「他人のアイコンへの関心の有無」という質問では「気になる」「どちらかといえば気になる」合わせて49.7%（74人）で「どちらかといえば気にならない」「気にならない」は合わせて34.9%（52人）で文教大学の学生は他人のアイコンを気にしている人の方が多いことがわかった。

図8



「自分のアイコンが人からどう思われているかへの関心」という問いでは「気になる」「どちらかといえば気になる」を合わせると36.3%（54人）で「どちらかといえば気にならない」「気にならない」は合わせて50.4%（75人）で文教大学生では自分のアイコンが人からどう思われているかを気にしない人の方が多いことがわかった。

図9



「アイコンとはどういうものか」という質問ではそれぞれの平均値が「自分のアカウントであることをわかりやすくするためのもの」2.07、「自慢するためのもの」3.76、「自己紹介のようなもの」2.46、「話題になるもの」3.35、「今の自分の気分を表現するもの」3.21、「自分をよくみせるためのもの」3.23であった。

「他人のアイコンへの関心の有無」と「自分のアイコンが人からどう思われているかへの関心」の関連を見た結果（図10）のようになった。カイ二乗検定結果（ $X^2(1) = 32.397, P < .01$ ）、1%水準で有意に関連がみられた。そこで傾向を分析すると「他人のアイコンへの関心の有無」が気になる場合、「自分のアイコンが人からどう思われているかへの関心」も高い。他者が気になるなるからこそ自分のアイコンがどう思われているのか気にする傾向がある。

図10

		自分のアイコンが人からどう思われているかへの関心			合計
		気になる	気にならない	どちらともいえない	
他人のアイコンへの関心の有無	気になる	42	23	9	74
		28.2%	15.4%	6.0%	49.7%
	気にならない	8	39	5	52
		5.4%	26.2%	3.4%	34.9%
どちらともいえない	4	13	6	23	
		2.7%	8.7%	4.0%	15.4%
合計		54	75	20	149
		36.2%	50.3%	13.4%	100.0%

( $X^2(1) = 32.397, P < .01$ )

LINE を変える頻度は半年に1回が最も多く、次いで2～3ヶ月に1回が多かった。数か月アイコンを見

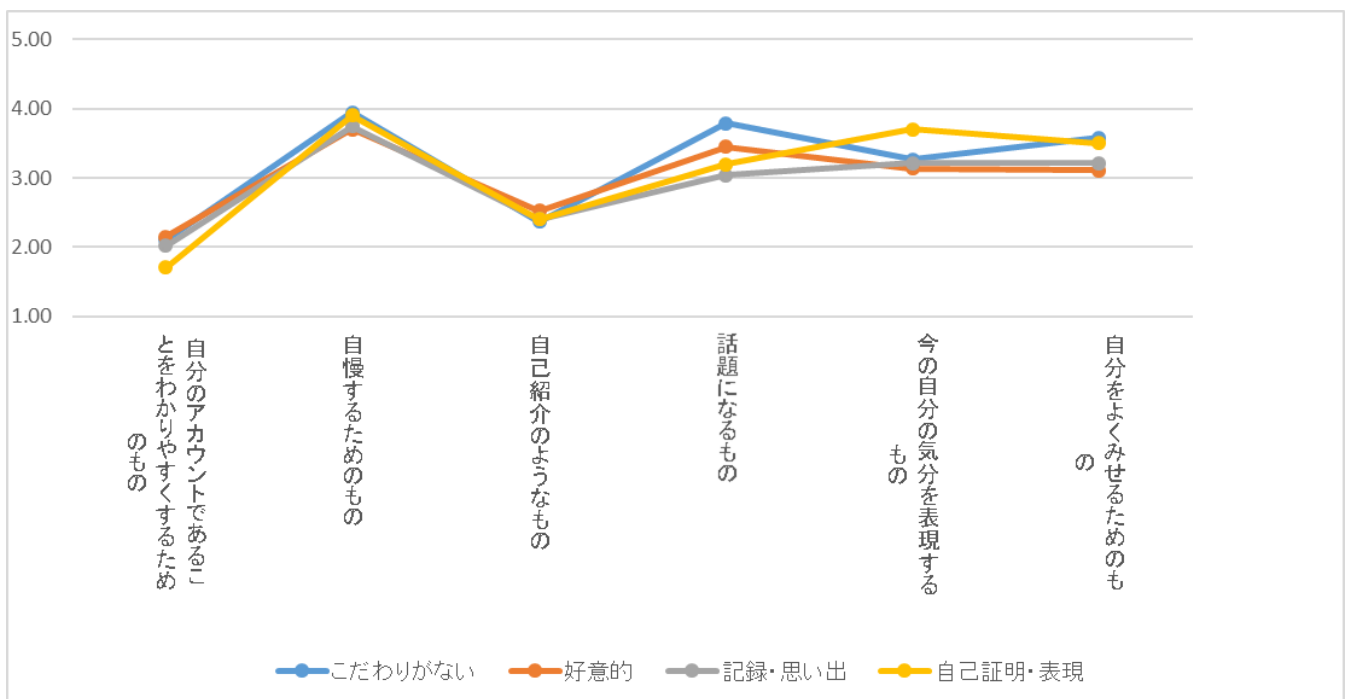
られることになるが、自身のアイコンを気にしているわけではない。筆者は数ヶ月に1度しか変わらないアイコンに注目しているということでこの結果になったと考えている。

### 3-5 アイコンの印象

これから「LINEのアイコンと性格に関連性はない」という仮説を検証したい。まずは選択理由から分析したい。

「アイコンとはどういうものか」という質問と「こだわりのない」「好意的」「記録・思い出」「自己証明・表現」と4分類にわけた「現在のアイコンを選んだ理由はなんですか。」という質問の差をF検定で整理した結果有意な差が見られなかったため個人の印象に基づいてLINEのアイコンを選択するわけではないと言える。

図 1 1



「アイコンとはどういうものか」という6項目に対してLINEのアイコンを自分にした人とそれ以外の人で独立したt検定をおこなった。その結果一部の項目で自分にした人とそれ以外の人で関連があることがわかった。

まず、最も大きな度数の差が出たのは「自分のアカウントであることをわかりやすくするためのもの」だった。次に差が出たのは「自分をよくみせるためのもの」であった。アイコンを自分にした人は「自分

のアカウントをわかりやすくするためのもの」と思っている。また、「自分をよくみせるためのもの」とも思っている。LINE のアイコンは印象によって左右されることもある。

図 1 2

	平均値	t 値	自由度	有意確率 (両側)
自分のアカウントであることをわかりやすくするためのもの	1.63	-3.077	147	0.002
	2.27			
自慢するためのもの	3.78	0.149	147	0.882
	3.75			
自己紹介のようなもの	2.22	-1.491	147	0.138
	2.56			
話題になるもの	3.39	0.261	147	0.795
	3.33			
今の自分の気分を表現するもの	3.04	-0.976	147	0.331
	3.29			
自分をよくみせるためのもの	2.87	-2.063	147	0.041
	3.39			

### 3-6.回答者の性格分析

次に LINE のアイコンと個人の性格に関連性があるのかを調べた。心理測定尺度集（堀 洋道監修 サイエンス社）から引用した『自己肯定意識尺度』『一般他者版成人愛着スタイル尺度』『ユニークさ尺度』より性格診断表を作成し、LINE のアイコンと性格の関連をみて 1 つも有意差が見られなければ LINE のアイコンと個人の性格は無関係だと言える。

自己肯定感に対する質問 11 の変数を因子分析（主成分分析、バリマックス回転）を行った結果、4 因子抽出された。それらの因子負荷量を示したものが（図—5）である。

図 1 3

	充実感・対人的積極性	自己実現的態度	批評意識・対人緊張	自己閉鎖性・人間不信
人前でもこだわりなく自由に感じたままを言うことができる	0.734	0.075	-0.369	0.032
精神的に楽な気分である	0.722	-0.055	-0.097	-0.294
わだかまりがなく、スカッとしている	0.712	-0.040	-0.195	-0.249
疑問だと感じたらそれらを堂々といえる	0.615	0.303	-0.160	0.068
自分の個性を素直に受け入れている	0.549	0.480	0.280	-0.242
自分の夢を叶えようと意欲に燃えている	0.056	0.828	-0.065	-0.014
自分には目標というものが無い	0.173	-0.715	0.372	0.239
自分なりの個性を大切にしている	0.412	0.659	0.276	0.029
人に対して、自分のイメージを悪くしないかと恐れている	-0.215	-0.069	0.854	0.076
人から何か言われないう、変な目で見られないかと気にしている	-0.256	-0.004	0.832	0.153
自分は人を信用していない	-0.079	-0.019	0.005	0.850
自分はひとりぼっちだと感じる	-0.230	-0.165	0.245	0.766
寄与率	21.841	16.625	16.567	13.409
固有値	2.621	1.995	1.988	1.609
累積寄与率	68.442			

表の左上から「人前でもこだわりなく自由に感じたままを言うことができる」、「精神的に楽な気分である」、「わだかまりがなく、スカッとしている」、「疑問だと感じたらそれらを堂々といえる」、「自分の個性を素直に受け入れている」といった項目からなり、『青年期における自己意識の発達に関する研究（1）自己肯定性次元と自己安定性次元の検討（平石、1990）』の第一因子とは異なるものとなった。そこで新しくこれらを「充実感・対人的積極性」の因子と解釈した。次の因子は「自分の夢を叶えようと意欲に燃えている」、「自分には目標というものが無い」、「自分なりの個性を大切にしている」といった項目であった。これらも平石の結果とは異なるため新しく「自己実現的態度」の因子と解釈した。「人に対して、自分のイ

メッセージを悪くしないかと恐れている」、「人から何か言われたいか、変な目で見られないかと気にしている」という項目は平石の結果と同じであったため「批評価意識・対人緊張」の因子と解釈した。最後の因子は「自分は人を信用していない」、「自分はひとりぼっちだと感じる」という項目から平石と同じ結果で、「自己閉鎖性・人間不信」と解釈した。

これらの因子についてはそれぞれの因子を構成する設問の回答結果の合計値をだした後、度数分布表を作成し、3分位で分けた。次に上位3分の1だけを使い2つに分けそれぞれの因子ごとにサンプルの性格を高低分類した。具体的には「充実感・対人積極性」が高いのか低いのか、「自己実現的態度」が高いのか低いのかなどを分類した。因子ごとのサンプルの性格と問5-2の「LINEのアイコンの種類」とクロス集計を行い、カイ二乗検定を行ったところ、全ての項目で有意差がみられなかった。

次に孤独感に対する質問12の変数を評定平均値をもとに因子分析（主成分分析、バリマックス回転）を行った結果、2因子抽出された。それらの因子負荷量を示したものが図14である。

図14

	見捨てられ不安	親密性の回避
私は一人ぼっちになってしまうのではないかと心配する	0.845	0.200
私が相手のことを大切に思うほどには、相手は私のことを大切に思っていないのではないかと私は心配する	0.844	0.084
私は（知り合いに）見捨てられるのではないかと心配になる。	0.837	0.268
私が人ととても親密になりたいと強く望むがために、時々人はうんざりして私から離れていってしまう	0.612	-0.279
私は人に心を開くのに抵抗を感じる	0.127	0.815
私は、人に何でも話す	0.075	-0.728
私は人と親密になることがどちらかというと好きではない	0.162	0.651
私は人に頼ることに抵抗がない	-0.040	-0.579
寄与率	31.909	26.879
固有値	2.553	2.150
因子寄与率	58.788	

左から「私は一人ぼっちになってしまうのではないかと心配する」、「私が相手のことを大切に思うほどには、相手は私のことを大切に思っていないのではないかと私は心配する」、「私は（知り合いに）見捨てられるのではないかと心配になる」、「私が人ととても親密になりたいと強く望むがために、時々人はうんざりして私から離れていってしまう」といった項目からなり、『“一般他者”を想定した愛着スタイル尺度の信頼性と妥当性の検討（中尾・加藤、2004）』の結果と同じであった。そのため「見捨てられ不安」の因子と解釈した。「私は人に心を開くのに抵抗を感じる」「私は、人に何でも話す」、「私は人と親密になることがどちらかというと好きではない」、「私は人に頼ることに抵抗がない」といった項目からこちらも中尾

と加藤の論文と同じ結果であったため「親密性の回避」の因子と解釈した。これらの因子についてはそれぞれの因子を構成する設問の回答結果の合計値をだした後、度数分布表を作成し、3分位で分けた。次に上位3分の1だけを使い2つに分けそれぞれの因子ごとにサンプルの性格を高低分類した。具体的には「見捨てられ不安」が高いのか低いのか、「親密性の回避」が高いのか低いのかなどを分類した。因子ごとのサンプルの性格と問5-2の「LINEのアイコンの種類」とクロス集計を行い、カイ二乗検定を行ったところ、全ての項目で有意差がみられなかった。

次にユニークさに対する質問13の変数を評定平均値をもとに因子分析（主成分分析、バリマックス回転）を行った結果、5因子抽出された。それらの因子負荷量を示したものが図15である。

図15

	抑圧型の独自性欲求	内向型の類似性欲求	わが道型の独自性欲求	自己顕示型の独自性欲求	非類似性欲求
他の人に自分のことを認めてもらいたい	0.751	0.070	-0.218	0.037	0.270
自分の容姿を気にする方である	0.707	-0.030	-0.104	-0.081	0.007
人に見られているとつかっこうをつけてしまう	0.674	0.083	0.077	0.121	-0.044
誰からも嫌われたくない	0.614	0.390	-0.140	0.101	0.056
他人が自分に反対すると嫌な気持ちになる	0.547	0.304	0.010	0.402	-0.328
恥ずかしがりやである	0.524	0.481	0.259	-0.168	-0.222
引っ込みじあんである	0.010	0.831	0.006	0.020	-0.100
いつでも積極的に自分の意見を述べる	0.069	-0.598	0.278	0.339	0.312
我を通すことはあまり好まない	0.246	0.589	0.097	0.023	-0.133
自分に対する他人の評価が気になる	0.463	0.582	-0.378	0.055	0.183
ついつい自分と他人を比較してしまう	0.312	0.567	-0.262	0.312	0.314
世間体はそれほど気にしない	-0.104	-0.235	0.808	0.001	0.055
他人の行動にはあまり関心がない	-0.089	0.239	0.748	0.251	0.232
人から「生意氣だ」とか「うぬぼれている」と言われたことがある	-0.069	0.113	0.029	0.810	0.089
人の話をきくより自分で話していたい方だ	0.258	-0.326	0.222	0.634	-0.159
型にはまったことをするより、変わったことをしたい	0.072	-0.184	0.221	-0.012	0.829
寄与率	18.374	17.554	11.008	9.747	7.937
固有値	2.940	2.809	1.761	1.560	1.270
累積寄与率	64.620				

左から「他の人に自分のことを認めてもらいたい」、「自分の容姿を気にする方である」、「人に見られているとつかっこうをつけてしまう」、「誰からも嫌われたくない」、「他人が自分に反対すると嫌な気持ちになる」、「恥ずかしがりやである」といった項目から引用した『大学生の独自性欲求の類型化に関する研究（宮下、1991）』のと同じであった。そのため「抑圧型の独自性欲求」の因子と解釈した。「引っ込みじあんである」、「いつでも積極的に自分の意見を述べる」、「我を通すことはあまり好まない」、「自分に対する他人の評価が気になる」、「ついつい自分と他人を比較してしまう」といった項目から宮下の結果とは異

なるものであった。そこで新しく「内向型の類似性欲求」の因子と解釈した。「世間体はそれほど気にしない」、「他人の行動にはあまり関心がない」の項目では宮下 一博氏の結果と同じ結果であったため「わが道型の独自性欲求」との因子と解釈した。「人から『生意気だ』とか『うぬぼれている』とか言われたことがある」、「人の話をきくより自分で話したい方だ」では引用文献に当てはまる結果であったため「自己顕示型の独自性欲求」の因子と解釈した。「型にはまったことをするより、変わったことをしたい」という因子は宮下 一博氏の結果には属さなかったため「非類似性欲求」と名付け、解釈した。これらの因子についてはそれぞれの因子を構成する設問の回答結果の合計値をだした後、度数分布表を作成し、3分位で分けた。次に上位3分の1だけを使い2つに分けそれぞれの因子ごとにサンプルの性格を高低分類した。具体的には「抑圧型の独自性欲求」が高いのか低いのか、「内向型の類似性欲求」が高いのか低いのかなどを分類した。因子ごとのサンプルの性格と問 5-2 の「LINE のアイコンの種類」とクロス集計を行い、カイ二乗検定を行ったところ、全ての項目で有意差がみられなかった。

3つ全ての性格診断に有意差はなかった。よって LINE のアイコンと性格についての関連性はないといえる。

#### 4. まとめ

調査では、LINE のアイコンと性格について調査してきた。LINE の普及率は 100%であり、学生の生活には欠かせないコンテンツであることがわかった。自分をアイコンに設定している人とそうでない人とは LINE がどういったものかという点で 1 部有意差がみられた。「自分のアカウントであることをわかりやすくするためのもの」に差が出たのは容易に理解できる。しかしながら「自分をよくみせるためのもの」に有意差がみられたことは想定外であった。自己肯定意識尺度ではアイコンによつての有意差はなかった為、次の調査では個々の自信を図る尺度を用いて調査をするべきだと考えられる。

今回の調査では文教大学に通う学生の性格と LINE のアイコンに関連性がないことが証明された。やはりこういった根拠のないものは一つの娯楽として話半分で聞くべきであると筆者は考える。

#### 5.参考文献

- ※ 1 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssp/8/3/8\\_KJ00004622755/pdf-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssp/8/3/8_KJ00004622755/pdf-char/ja)  
血液型性格関連説についての検討 佐藤達哉、1993 年
- ※ 2 [https://www.news-postseven.com/archives/20140516\\_255939.html](https://www.news-postseven.com/archives/20140516_255939.html)
- ※ 3 [https://scdn.line-apps.com/stf/linecorp/ja/ir/library/Q2\\_presentation\\_JP.pdf](https://scdn.line-apps.com/stf/linecorp/ja/ir/library/Q2_presentation_JP.pdf)



### 大学生の LINE のアイコンについての調査

この調査は大学生の LINE のアイコンについて調べるためのものです。この調査で収集しました回答は、統計的に処理を行い報告書作成の目的以外に使用することは一切ございません。また、この回答により、個人が特定されたり、授業の評価に影響を及ぼすことはございません。率直にご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

調査についてご質問・ご不明な点がございましたら下記の連絡先までご連絡ください。

文教大学 情報学部メディア表現学科 板野 茜

Email: b5p51009@shonan.bunkyo.ac.jp

問1 あなたは LINE を利用していますか。(1 つに○)

- 1.はい (100%)      2.いいえ (0%)

問2 あなたは LINE をどのぐらいの頻度で利用していますか。

- 1.ほぼ毎日使う (94.6%)   2.2～3日に1回 (5.4%)   3.4日～7日に1回 (0%)  
4.2週間に1回以下 (0%)

問3 あなたの、LINEでの友達の数についてお答えください。LINEを開いて確認してからお答えください

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 30人以下 (2.0%)     | 2. 31～50人 (2.7%)    |
| 3. 51～70人 (4.0%)    | 4. 71～100人 (12.8%)  |
| 5. 101～150人 (18.8%) | 6. 151～200人 (20.1%) |
| 7. 201～300人 (20.1%) | 8. 301人以上 (19.5%)   |

問4 あなたがLINE上で所属しているグループはどれが一番多いですか。

1. 友達とのグループ (学内) (37.6%)
2. 友達とのグループ (学外) (40.9%)
3. 授業内課題 (ゼミナールも含む) のためなどに作られたグループ (4.0%)
4. サークル活動のためのグループ (15.4%)
5. バイトなどの仕事上のグループ (0.7%)
6. 趣味のためのグループ (1.3%)
7. その他 ( ) (0%)

問5 アイコンとは名前の左側に表示される丸い画像のことを言います。以下に選択肢と自由回答でLINEのアイコンについてお聞きします。

問5-1 現在のあなたのLINEのアイコンはなんですか。できるだけ詳しく書いて下さい。

(※例 綺麗な海の写真 好きな芸能人 自分の手 彼女の手料理 など)  
( )

問5-2 現在のあなたのLINEのアイコンはなんですか。(最も近いと思うもの1つに○)

1. 自分 (30.9%)
2. 景色 (6.7%)
3. 芸能人 (6.7%)
4. アニメーションキャラクターや漫画、ゲームキャラクター等のイラスト (12.1%)
5. 自分で描いたイラスト (0.7%)
6. ペット・動物 (6.0%)
7. 面白画像 (0%)
8. 乗り物 (1.3%)
9. 仲間との集合写真 (4.0%)
10. 恋人とのツーショット写真 (0%)
11. 家族との写真 (0%)
12. 友達と一緒に写っている写真 (20.8%)
13. 物 (ぬいぐるみなど) (5.4%)
14. 料理・食べ物 (2.0%)
15. 初期設定のまま (1.3%)
16. その他 ( ) (2.0%)

問5-3 問5-1で「1.自分」を選んだ方にお聞きします。以下の選択肢で最も近いと思

うものはなんですか。(1つに○)

- 1.自分の顔や全身 (11.4%)
- 2.アップにした自分の顔や体などの一部分 (6.7%)
- 3.自分の変顔や変わった姿 (6.7%)
- 4.趣味をしている自分 (2.0%)
- 5.スーツなどのビジネス用の服を着ている自分 (0.7%)
- 6.自分の後ろ姿 (6.0%)
- 7.自分が小さく景色の中にいる (4.7%)
- 8.自分の子供の頃の姿 (高校時代もふくむ) (0%)
- 9.特別な衣装を着た自分 (2.0%)
- 10.自分の似顔絵やアバター (0.7%)
11. その他 ( )

問6 現在のアイコンを選んだ理由はなんですか。できるだけ詳しく書いてください。  
( )

問7 あなたはどのぐらいの頻度で、アイコンを変えますか。

- 1.週に1回以上 (0.7%)
- 2.月に2~3回 (4.0%)
- 3.月に1回 (7.4%)
- 4.2~3ヶ月に1回 (33.6%)
- 5.半年に1回 (37.6%)
- 6.1年に1回以下 (16.8%)

問9 あなたは他の人のアイコンが気になりますか。

- 1.気になる (14.1%)
- 2.どちらかといえば気になる (35.6%)
- 3.どちらともいえない (15.4%)
- 4.どちらかといえば気にならない (17.4%)
- 5.気にならない (17.4%)

問10 あなたは自分のアイコンが人からどう思われているか気になりますか。

- 1.気になる (%)
- 2.どちらかといえば気になる (%)
- 3.どちらともいえない (%)
- 4.どちらかといえば気にならない (%)
- 5.気にならない (%)

問11 あなたにとってアイコンとはどういったものですか。以下の選択肢で最も近いと思  
うものはなんですか。(1つに○)

	あてはまる	どちらかとい えばあてはま る	どちらともい えない	どちらかとい えばあてはま らない	あてはまらな い
自分のアカウントであること をわかりやすくするための もの	(40.3%)	(34.2%)	(10.1%)	(8.7%)	(6.7%)

自慢するためのもの	(8.1%)	(11.4%)	(19.5%)	(18.8%)	(42.3%)
自己紹介のようなもの	(24.8%)	(40.3%)	(12.1%)	(10.1%)	(12.8%)
話題になるもの	(9.4%)	(21.5%)	(19.5%)	(24.2%)	(25.5%)
今の自分の気分を表現するもの	(17.4%)	(15.4%)	(20.8%)	(20.8%)	(25.5%)
自分をよくみせるためのもの	(14.8%)	(21.5%)	(17.4%)	(18.8%)	(27.5%)

問 11 以下に 12 個の質問項目があります。それぞれの文章をよく読んで、それが現在の自分にとってどのくらいあてはまるかを考え、最も適していると思われる番号をつけてください。

	あてはまらない	あてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	ない	どちらともいえない	あてはまる	あてはまる
	1	2	3	4	5		
1 自分なりの個性を大切にしている	(2.7%)	(6.7%)	(9.4%)	(41.6%)			39.6%
2 自分の個性を素直に受け入れている	(1.3%)	(7.4%)	(15.4%)	(42.5%)			33.6%
3 自分の夢を叶えようと意欲に燃えている	(12.1%)	(18.8%)	(22.8%)	(27.5%)			18.8%
4 自分には目標というものがない							

		(28.9%)	(26.2%)	(13.4%)	(19.5%)	(12.1%)
						5
						(12.8%)
5	わだかまりがなく、スカッとしている	1 (10.7%)	2 (25.5%)	3 (29.5%)	4 (21.5%)	5 (12.8%)
						5
						(14.8%)
6	精神的に楽な気分である	1 (9.4%)	2 (30.2%)	3 (16.8%)	4 (28.9%)	5 (14.8%)
						5
						(7.4%)
7	自分はひとりぼっちだと感じる	1 (30.9%)	2 (24.8%)	3 (19.5%)	4 (17.4%)	5 (7.4%)
						5
						(5.4%)
8	私は人を信用していない	1 (22.1%)	2 (24.8%)	3 (29.5%)	4 (18.1%)	5 (5.4%)
						5
						(17.4%)
9	疑問だと感じたらそれらを堂々といえる	1 (8.1%)	2 (26.8%)	3 (20.1%)	4 (27.5%)	5 (17.4%)
						5
						(11.4%)
10	人前でもこだわりなく自由に感じたままを言うことができる	1 (14.8%)	2 (30.2%)	3 (21.5%)	4 (22.1%)	5 (11.4%)
						5
11	人から何か言われないうえ、変な目で見られないかと気にしている	1 (7.4%)	2 (6.7%)	3 (16.1%)	4 (40.9%)	5 (28.9%)

						(28.9%)
						5
						(20.1%)
人に対して、自分のイメージを悪くしな	1	2	3	4		
12 いかと恐れている	(6.7%)	(11.4%)	(14.8%)	(47.0%)		

問 12 以下には、いろいろな人が対人関係の中でどのような気持ちを持つかについての文があげてあります。それぞれの文は「あなたが普通の対人関係の中で一般的に体験している気持ちや感じ方」に、どのくらいあてはまりますか。現在の対人関係での経験だけでなく、いろいろな対人関係の中であなたがよく体験していることを思い浮かべながら、最も当てはまる番号に○をつけてください。

「非常に当てはまる」…………… 7

「かなり当てはまる」…………… 6

「やや当てはまる」…………… 5

「どちらともいえない」…………… 4

「やや当てはまらない」…………… 3

「かなり当てはまらない」…………… 2

「全く当てはまらない」…………… 1

私は一人ぼっちになってし

1	まうのではないかと心配する	1	2	3	4	5	6	7
		(18.8%)	(15.4%)	(12.1%)	(7.4%)	(29.5%)	(8.1%)	(8.7%)

私は（知り合いに）見捨て

2	られるのではないかと心配になることはほとんどない	1	2	3	4	5	6	7
		(22.8%)	(15.4%)	(18.1%)	(11.4%)	(16.1%)	(8.1%)	(7.4%)

3	私が相手のことを大切に思うほどには、相手は私のこ	1	2	3	4	5	6	7
		(12.8%)	(13.4%)	(14.8%)	(18.1%)	(21.5%)	(12.1%)	(7.4%)

とを大切に思っていないの  
ではないかと私は心配する

私が人ととても親密になり

たいと強く望むがために、  
時々人はうんざりして私か  
ら離れていってしまう

私は、人に何でも話す

私は人に頼ることに抵抗が  
ない

私は人に心を開くのに抵抗  
を感じる

私は人と親密になることが  
どちらかというと好きでは  
ない

	1	2	3	4	5	6	7
	(22.5%)	(25.5%)	(14.8%)	(13.4%)	(12.8%)	(4.0%)	(4.0%)
	(8.7%)	(12.8%)	(18.8%)	(10.7%)	(32.2%)	(10.1%)	(6.7%)
	(4.7%)	(10.7%)	(23.5%)	(12.1%)	(25.5%)	(13.4%)	(10.1%)
	(8.7%)	(6.0%)	(17.4%)	(14.8%)	(31.5%)	(12.8%)	(8.7%)
	(18.1%)	(22.8%)	(21.5%)	(12.1%)	(19.5%)	(3.4%)	(2.7%)

問 13 以下に文章が並んでいます。それぞれの文をよく読んで、あなたの日常の考えや行動にどの程度あてはまるかを考え、最も適している番号に○をつけてください。

- 「非常にそう思う」…………… 7
- 「かなりそう思う」…………… 6
- 「ややそう思う」…………… 5
- 「どちらともいえない」……… 4
- 「ややそう思わない」…………… 3
- 「かなりそう思わない」……… 2
- 「全くそう思わない」…………… 1

1	引っ込みじあんである	16.8%	8.7%	14.8%	6.0%	27.5%	16.1%	10.1%
2	自分に対する他人の評価が気になる	4.7%	4.7%	6.7%	4.0%	27.5%	30.2%	22.1%
3	型にはまったことをするより、変わったことをしたい	7.4%	8.7%	12.1%	18.1%	20.1%	18.1%	14.8%
4	ついつい自分と他人を比較してしまう	4.0%	7.4%	4.0%	6.7%	26.8%	30.2%	20.8%
5	誰からも嫌われたくない	9.4%	6.0%	7.4%	11.4%	18.1%	27.5%	20.1%
6	我を通すことはあまり好まない	6.0%	10.7%	12.8%	21.5%	24.2%	15.4%	9.4%
7	他人が自分に反対すると嫌な気持ちになる	6.4%	11.4%	11.4%	18.8%	24.2%	16.8%	10.7%
8	人の話をきくより自分で話していたい方だ	8.7%	18.8%	22.8%	18.8%	13.4%	6.7%	10.7%
9	世間体はそれほど気にしない	7.4%	16.1%	25.5%	13.4%	20.1%	8.7%	8.7%
10	いつでも積極的に自分の意見を述べる	5.4%	13.4%	22.1%	22.1%	16.1%	10.1%	10.7%
11	他人の行動にはあまり関心がない	6.7%	10.1%	26.2%	14.8%	15.4%	18.8%	8.1%
12	人に見られているとつかっこうをつけてしまう	9.4%	13.4%	8.7%	9.4%	29.5%	20.1%	9.4%
13	恥ずかしがりやである	5.4%	3.4%	8.1%	12.1%	26.8%	23.5%	20.8%
14	人から「生意気だ」とか「うぬぼれている」とか言われたことがある	38.9%	16.1%	12.8%	10.1%	11.4%	6.0%	4.7%
15	自分の容姿を気にする方である	2.7%	6.0%	9.4%	9.4%	24.2%	25.5%	22.8%
16	他の人に自分のことを認めてもらいたい	3.4%	2.0%	4.0%	10.7%	22.1%	30.2%	27.5%



問14 あなたの所属する学部・学科を教えてください。

集計省略

問15 あなたは大学のサークルに所属していますか。

1. 所属している (67.8%)      2. 所属していない (32.2%)      3.その他 (0%)

問16 あなたはアルバイトをしていますか。

1. している (89.3%)    2. していない (10.7%)    3.その他 (0%)

問17 あなたは一人暮らしですか。実家暮らしですか。

1. 一人暮らし (41.6%)    2. 実家暮らし (57.0%)    3.その他 (1.3%)

問16 あなたの性別を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男 (39.6%)    2. 女 (60.4%)      3.その他 (0%)

問17 あなたの年齢をお書きください。

( 20.08 ) 歳

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。